中越沖地震 11 周年記念事業　基調講演・パネルディスカッション

防災教育から見えてきた地域学習の可能性

基調講演

木村 真三 氏

1967 年愛媛県生まれ。放射線衛生学者。2011 年 8 月より獨協医科大学准教授、同大国際疫学研究室長。

1999 年 9 月東海村 JCO 臨界事故の経験から、福島第一原発事故直後に現地入りして放射線量測定、サンプル採取を実施。汚染の実態を明らかにし、その様子が 2011 年 5 月の NHK ETV 特集『ネットワークでつくる放射能汚染地図』で放映され、大きな反響を呼んだ。

開催趣旨

中越沖地震から 11 年。今では当時を知らない子どもたちも増えてきています。改めて、私たちの経験をしっかりと伝えていくこと、そしてこれからの地域について自分ごととして考えられる子どもたちを育てていくことが求められています。今回の講演会では、東日本大震災以降、二本松市で放射線教育を通じた防災教育を実践されてきた木村先生をお迎えし、取り組まれている授業や子どもたちの変化、今後の課題などをお話しいただきます。後半のパネルディスカッションでは、市内の小中学校の先生やまちからの防災コーディネーターを交えて、これからの地域の担い手である子どもたちへの防災教育・地域づくりの可能性について考えていきます。

プログラム

9：20	受付開始
10：00	開会
10：10	基調講演
11：10	休憩
11：20	パネルディスカッション ◎ 木村 真三 准教授 ◎ 鯖石小学校 小林 雄二教頭 ◎ 第五中学校 箕輪 雅史教頭 ◎ まちから 野村 卓也
12：30	閉会

12：45　防災教育デモンストレーション

講演会・パネルディスカッション終了後には、まちからで実施している防災教育のデモンストレーションを開催します。（約 30 分の簡易プログラムをご覧いただきます）

‖主 催‖　中越沖地震メモリアルまちから

駐車場は「まちから」及び「みなとまち海浜公園」をご利用ください。

防災やまちづくりに関する様々な情報をＳＮＳで発信しています！

かしわざき まちから

かしわざき市民活動センターまちから

平成 30 年

7月16日［月・祝］

10:00～12:30《受付 9:20～》

会場　かしわざき市民活動センターまちから
２階 交流・活動ルーム３（柏崎市西本町 3-2-8）

お申し込み・お問い合わせ

当催しは、事前申し込みが必要です。下記までお問い合わせください。（入場無料 ／ 定員 100 名）

TEL. 0257-22-2003
FAX. 0257-22-2007
Mail. machikara@npo-aisa.com

電話か FAX、メールにて［氏名、所属、連絡先］をお伝え下さい。
（メールタイトルは「7/16 講演会の申し込み」とご記載ください。